

# くまもと有機エレクトロニクス連携エリア

## 有機エレクトロニクス産業の基盤技術を核とする広域的な地域イノベーション創出

### 総合調整機関

公益財団法人 くまもと産業支援財団  
〒862-0901  
熊本県熊本市東区東町3丁目11-38  
TEL096-368-7444

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…熊本県工業連合会 他
- 学…熊本大学、**崇城大学**、九州大学
- 官…熊本県、**くまもと産業支援財団**、九州先端科学技術研究所
- 金…日本政策金融公庫、肥後銀行、熊本銀行



### プロジェクトディレクター 河北 隆生

略歴：熊本県職員として、研究開発や地域企業とのネットワーク構築に注力、熊本県産業技術センター次長を経て、現在くまもと産業支援財団有機薄膜技術高度化専門監。

熊本県産業技術センター次長としての地域企業とのネットワークや技術マネジメント能力を活かし、地域の半導体関連企業の有機エレクトロニクス産業への参入や、関連企業の誘致を促進し、有機エレクトロニクス産業を半導体や自動車に次ぐ地域の次世代リーディング産業として育成すべく、研究と事業化の両面においてプロジェクト全体のマネジメントに取り組む。

## 地域イノベーション戦略

福岡県を含む北部九州地域の強みである有機材料技術の蓄積、半導体関連企業の集積及び「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」の機器等を活かし、有機エレクトロニクス産業を地域の次世代リーディング産業に育成するため、産学官金が連携し、有機薄膜技術の研究開発と事業化の促進、人材育成及び広域連携等に取り組み、地域の半導体関連企業の有機エレクトロニクス分野への参入や関連企業の誘致を促進し、持続的・発展的な地域イノベーションの創出を目指す。

## 事業の内容

### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：熊本大学、崇城大学、九州大学）

戦略の中核を担う研究者6名を3大学に集積し、有機エレクトロニクス分野の光電変換材料、封止及び電極材料等のデバイスを構成するために必須となる諸材料や、製造プロセス技術等の研究開発を加速させるとともに、先々、地域における事業化の推進のキーマンとする。

### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：くまもと産業支援財団）

人材育成プログラム開発者（人材コーディネータ）1名を配置し、経営戦略との整合性を重視した組織的・体系的・継続的な人材育成事業を実施し、地域における自律的な人材育成システムを構築する。

### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：くまもと産業支援財団）

地域連携コーディネータ2名を配置し、有機エレクトロニクス産業における業界動向の情報提供や事業化に向けた支援のほか、大学等の研究開発成果の移転と特許経営面での支援を行い、大学等の研究機関と企業を結ぶ「知のネットワーク」を構築する。

### 4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：熊本大学、崇城大学）

技術支援スタッフ3名を2大学に配置し、大学に設置されている有機エレクトロニクス関連の最新施設や高度な研究設備を地域企業等に広く開放するための共用化に向けた体制整備を行い、地域のオープンイノベーション拠点としての機能強化と、地域企業等の多様なニーズに応える。

